

放課後等ディサービス	公表	事業所における自己評価総括表
------------	----	----------------

○事業所名	こどもディサービス じゃんけんぽん		
○保護者評価実施期間	R7 年 11 月 20 日 ～ R7 年 12 月 10 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30人	(回答者数) 25人
○従業者評価実施期間	R7 年 12 月 15 日 ～ R7 年 12 月 26 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	R8 年 1 月 15 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	送迎時やモニタリング時に保護者様とのコミュニケーションを増やして相談しやすい雰囲気を作っています。	活動の様子を連絡帳に記入し、保護者様には口頭でも伝えていきます。また、子どもの様子を観察して職員と共有し、保護者様に良い所や頑張っている所をしっかりと伝えていきます。	新しい活動やお出かけ先を増やして、子どもの興味や長所を見つけることや出来るようになったこと等を職員間で情報共有し、保護者様に伝えるようにします。また、保護者様から子どもの様子について聞いたこと等を職員間で共有するようにします。
2	実験遊びや感覚遊び、お買い物学習、おでかけ等の様々な活動を行っていることや、ダンスや体操教室、音楽療法では外部講師を招いた専門的な活動を行っています。また、夏祭りやクリスマス会等の季節に応じたイベントも実施して、子ども達が毎日楽しめるような活動内容にしています。	活動内容を職員間で話し合い、子ども達が興味を持つ内容になっているかや子ども達の特性に合わせて取り組める内容になっているかを検討しています。今年度は実験遊びの活動やハロウィン等のイベントを増やしたり、他の活動も活動内容を改善して、子ども達が楽しみながら出来ることが増えるようにしています。	子ども達が興味を持つことが出来る活動を増やしたり、ひとりひとりの発達に合わせながら楽しむことが出来るように活動内容の改善に取り組んでいきます。また、公園やお出かけ先等を子ども達自身で決める機会を増やす等の意思決定や子ども達の要望を聞くなどして活動に取り入れるようにします。
3	保護者様の急な送迎変更等にも柔軟に対応していることや、要望や困りごと等に対しても工夫しながら出来る限り対応して速やかに回答をしています。	どうしたら要望に応えることが出来るかを考え、職員間で話し合っています。また、保護者様からの利用希望の変更や、送迎の変更や順番の変更等の要望に対応しています。	保護者様からの要望を聞くとともに、保護者様が困っていることは何かを考え、利用しやすい仕組みを整えるようにします。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等をしていないこと。	職員が日本ペアレント・トレーニング協会が主催する研修やその他の事業所のオンライン研修に参加し、モニタリング時に家族の困りごとや子どもに対する支援をしています。平日や土曜日に複数の研修会予定日を計画していましたが、保護者様の仕事等の都合により日程が合わず開催が出来ませんでした。	モニタリング等で家族の困りごとや子どもに対する支援方法を伝えるようにすることや市町村の関係機関が主催する研修会等の情報を提供するようにします。また、家族等が参加できる研修会の開催について実現方法を検討するようにします。
2	放課後児童クラブや児童館との交流がないことや地域の他のこどもと活動する機会が少なく、保護者様に周知されていないこと。	放課後児童クラブとの交流はありませんが、小牧市にあるこまきこども未来館（児童館）や公園に行ったり、地域のお祭り等に参加して地域や他の子どもとの関わりが増えるようにしていますが、保護者様に周知がされていませんでした。	インターネットや情報誌等で情報収集し、他の子どもと関わる機会を増やすようにします。児童館や地域のお祭り等の予定を活動予定表に分かりやすく表記をすることや活動を行った場合は、インスタグラムやじゃんけんぽん通信などで発信をして保護者様に周知します。
3			